



<報道関係各位>

ギリアド・サイエンシズ株式会社

当資料は、米国ギリアド・サイエンシズ社が、2017年8月28日（現地時間）に発表した英文プレスリリースを日本語に翻訳、一部編集したものです。正式な言語は英語であり、その内容ならびに解釈については英語が優先します。  
※本文中には本邦未承認薬に関する記載があります。

**ギリアド・サイエンシズ  
カイトファーマを119億ドル（日本円＝約1兆34億円）で買収  
--ギリアドは一躍、細胞療法のリーダーに--**

- カイトの最も進んだCAR T療法の新薬候補、Axicabtagene Ciloleucelが、米国において優先審査中、EUにおいては迅速審査 --
- 血液がん及び固形がんのパイプラインを拡充、イノベーションのプラットフォームを強化 --
- 急速に進歩している療法においてギリアドのノウハウを活用し、アンメットニーズの患者に対応 --

本日、ギリアド・サイエンシズ（本社：米カリフォルニア州フォスターシティ、ナスダック：GILD、以下「ギリアド」）及びカイトファーマ・インク（本社：米カリフォルニア州サンタモニカ、ナスダック：KITE、以下「カイト」）は、ギリアドによるカイト買収に関する契約を締結したことを発表しました。ギリアドは、カイト株1株当たり180ドルを現金で支払います。カイトの企業価値を約119億ドルと評価したこの取引は、両社の取締役会が満場一致で承認しており、2017年第4四半期に完了する予定です。この取引で収益源多様化の機会が生まれますが、3年目までは収益への影響はなく、それ以降は増収増益になると予想しています。

カイトは、細胞療法という新しい領域における業界のリーダーで、細胞療法とは患者さん自身の免疫細胞を利用し、がんと闘う療法です。同社は、がんの種類によって、キメラ抗原受容体（CAR）又は遺伝子改変T細胞受容体（TCR）を発現させる遺伝子改変細胞療法を開発しました。カイトの最も開発の進んだ新薬候補、axicabtagene ciloleucel (axi-cel)はCAR T療法あり、現在、米食品医薬品局（FDA）による優先審査が行われています。axi-celは、再発・難治性非ホジキンリンパ腫の治療薬としては最初に上市される製品になると予想され、びまん性大細胞型B細胞リンパ腫（DLBCL）、形質転換した濾胞性リンパ腫（TFL）、原発性縦隔B細胞リンパ腫（PMBCL）等が含まれます。処方せん薬ユーザーフィー法（PDUFA）に従って、FDAは2017年11月29日を審査終了目標日に設定しました。更にaxi-celは、再発・難治性DLBCL、TFL、PMBCLの治療薬として医薬品販売承認申請（MAA）が欧州医薬品庁（EMA）にも提出されており、欧州で最初に承認申請されたCAR T療法となりました。2018年に欧州で承認される見込みです。カイトには、血液がん及び固形がんの両方の領域で、その他にも臨床試験段階にある新薬候補が複数あり、その中には、KITE-585という多発性骨髄腫で発現するBCMAを標的とするCAR T療法の新薬候補も含まれています。

ギリアドの最高経営責任者兼取締役、ジョン・F・ミリガン（PhD）が次のように述べています。  
「カイトの買収により、ギリアドは細胞療法のリーダーとしての地位を確立することになりま

す。また、買収は進行がん患者さんのためにイノベーションを推進させる原動力となります。細胞療法の領域は非常に急速に進歩しており、そのサイエンスとテクノロジーが患者さんの治癒可能性に繋がる明瞭な道を切り開くまでに至りました。当社ではカイト・チーム及びその業績に大いに感動し、細胞療法ががん治療の基軸となるという信念に共感しています。両社は、より効率的で安全な製剤をできるだけ多くの患者さんに提供するために迅速なイノベーションを推進する企業カルチャーや歴史においても共通しており、この素晴らしい戦略的適合が実現したのです。」

カイトの研究開発及びコマーシャル事業は、これまで通りカリフォルニア州サンタモニカを拠点とし、製品の製造も引き続きカリフォルニア州エルセグンドで行います。

カイトの会長兼社長兼最高経営責任者、アリー・ベルデグラン（MD、FACS）は次のように述べています。「axi-celに関する重要なデータの公表からFDAによる承認の可能性までいろいろ考えると、実に画期的な出来事が多い1年を過ごしている感じがします。どの成果においてもカイト独自の手腕が反映されています。業界で最も革新的企業の一社であるギリアドがその価値を認めて下さり、患者さんのために最先端の治癒が期待される治療法開発への情熱を共有して下さっていることをこの上なく嬉しく思っています。CAR Tは血液がんに対する最も強力な抗がん剤のひとつになる可能性があります。ギリアドのノウハウとサポートを享受しながら、世界中の患者さんのためにこの可能性を実現させるため、当社の強力なパイプライン及び次世代のリサーチ/製造テクノロジーへの取り組みを迅速に加速化させていく意向です。」

## 買収のメリット

### 短期的な製品化のチャンス

- 再発・難治性非ホジキンリンパ腫を適応症とするaxi-celが、米国において2017年第4四半期、欧州において2018年に承認される見込み
- 米国での発売及び製造準備が完了
- 欧州におけるインフラ構築

### 将来的な成長を牽引する強力なパイプライン及びテクノロジー・プラットフォーム

- アグレッシブNHL及びその他のB細胞悪性腫瘍に対する初期治療の選択肢としてaxi-celの適応拡大を目的とした多くの開発プログラムが進行中
- 多発性骨髄腫及び急性骨髄性白血病の治療を目的とした更なるCAR Tの開発が進捗している
- 固形がんに対して使用できる可能性のあるTCRの研究が進捗している

### ギリアドはオンコロジー及び細胞療法の領域においてグローバル・リーダーの地位を獲得

- 他の治療法で効果が得られなかった患者さんに関して、説得力のある臨床データが細胞療法によって得られた
- axi-celは、カイトのトップクラスの製造能力、次世代テクノロジー及び新療法候補のポートフォリオと一体となり、ギリアドが業界トップの細胞療法フランチャイズを構築する上での基盤を提供する

### ギリアドのコア能力をカイトのポートフォリオの価値最大化に活用

- 既存製品の改良又は代替製品の出現へと繋がる継続的な科学的・医学的イノベーションを推進する能力
- 患者さんの要望に対応した複雑な製造プロセスの調整能力が実証
- 短時間での臨床開発計画の設計及び実施により、開発タイムラインを短縮
- 革新的でスペシャリティー領域の医薬品発売に関する優れた実績

## 取引条件

合併契約の条件に従い、ギリアドの完全子会社が直ちにテンダーオファーを開始し、カイトの

全ての発行済み普通株式を1株当たり現金180ドルで取得します。このテnder オファーが問題なく終了すれば、ギリアドは合併の第二段階を通して、テnder オファーで提供されなかった残りの全ての株式をテnder オファーにおける価格と同額で取得します。

テnder オファーを完了させるには様々な条件が適用されます。その中には、完全希薄化ベースで発行済みカイト株式の過半数以上の応募があること、米国ハート・スコット・ロディノ反トラスト改正法に基づく待機期間の満了または解除、及びその他の慣習的条件があります。

ギリアドは、手元現金、銀行借入れ、無担保上位債務を組み合わせることで買収資金を調達する計画です。このテnder オファーは資金調達状況によって変更されることはありません。

買収価格の1株当たり180ドルは、8月25日（金）のカイト株の終値に対して29パーセントのプレミアム、同社の30日出来高加重平均株価に対して50パーセントのプレミアムです。

BofA Merrill Lynch及びLazardがギリアドの財務顧問、Centerview Partnersがカイトの専属財務顧問です。またJefferies LLC及びCowen and Company, LLCもカイトにアドバイスを提供しています。Skadden, Arps, Slate, Meagher & Flomがギリアドの法律顧問、Sullivan & Cromwell LLP 及びCooley LLPがカイトの法律顧問です。

### カンファレンスコール

ギリアドの経営陣は本日米国東部標準時午前8時から、この度の買収取引について話し合うためのカンファレンスコール（電話会議）を開催します。同時に、ウェブキャストにて本会議のライブ配信を行います。インターネット経由でのライブ配信は、ギリアド社ウェブサイト [www.gilead.com/investors](http://www.gilead.com/investors) からアクセスできます。ウェブキャストの聴取にソフトウェアのダウンロードが必要になる場合もありますので、十分な時間を確保できるように、会議開始15分前にはアクセスして下さい。あるいは1-877-359-9508（米国の場合）または1-224-357-2393（米国以外の場合）に電話し、カンファレンスID 77187238をダイヤルして会議にアクセスしてください。

このウェブキャストは再生用にギリアド社のウェブサイトアーカイブとして1年間保存されます。また会議終了の約2時間後から2017年8月30日まで電話による再生も可能です。電話で再生するには、1-855-859-2056（米国の場合）または1-404-537-3406（米国以外の場合）に電話し、カンファレンスID 77187238をダイヤルして下さい。

### カイトファーマ・インクについて

カイトは、革新的ながん免疫療法の開発を行っているバイオ医薬品企業であり、即効性・長期作用性・持続的奏効が得られる治療薬を提供し、長期治療の負担をなくすことを目標としています。カイトでは、キメラ抗原受容体（CAR）及びT細胞受容体（TCR）を用いた細胞療法に集中的に取り組んでいます。これらの療法では腫瘍を識別・死滅させるための免疫システムの強化が設計されています。2017年3月31日、カイトは同社の主力新薬候補、axi-celの生物学的製剤承認申請書をFDAに提出しました。自家幹細胞移植に不適応な再発・難治性非ホジキンリンパ腫の患者さんに対する治療薬としての申請です。2017年5月29日、カイトは優先審査の通知を受領し、処方せん薬ユーザーフィー法（PDUFA）による審査終了目標日が2017年11月29日に決定されました。今回の申請前に実施した化学療法抵抗性アグレッシブ非ホジキンリンパ腫の患者さんを対象とするaxi-celの極めて重要な治験、ZUMA-1で、カイトは良好な結果を得ています。カイトは米国カリフォルニア州サンタモニカを本拠地とします。同社に関する詳細な情報は、[www.kitepharma.com](http://www.kitepharma.com) にアクセスしてご確認下さい。

### ギリアド・サイエンシズについて

ギリアド・サイエンシズは、医療ニーズがまだ十分に満たされない分野において、革新的な治

療を創出、開発、製品化するバイオファーマ企業です。会社の使命は、生命を脅かす難病を抱える世界中の患者さんのために医療を向上させることです。カリフォルニア州フォスターシティに本社を置き、世界30か国以上で事業を行っています。

### **将来予想に関する記述**

このプレスリリースに含まれる実績ベースでない記述は、1995年の私募証券訴訟改革法の意義の範囲内で作成された将来予想に関する記述です。ギリアド、カイト、ギリアドによるカイトの買収に関しては、将来予想に伴うリスク、不確実性及びその他の要因の影響を受けます。歴史的事実以外の全ての記述は、将来予想に関する記述とみなされ、企業及びその経営陣の意向、意見、予想に関する全ての記述等がその中に含まれます。将来予想に関する記述には以下に関する記述が含まれますが、これらに限定されないものとします。企業合併；企業合併によるギリアドの収益への影響；カイト製品の商業的成功；FDAによるaxi-celの承認；EMAによるaxi-celの承認；カイトの製品パイプライン（axi-cel等）を進捗させる上でのギリアドの能力；臨床データの予想タイミング；臨床試験で好ましくない結果が出るという可能性；買収取引に関する書類提出及び承認；買収取引完了の予想時期；良いタイミングで買収契約を完了させる能力；統合する両社に関連した問題又は予想外の経費；上記のいずれかに関連した推測の正確性。投資家の方々におかれましては、このような将来予想に関する記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性があることに留意して慎重にご検討下さい。また、これらの将来予想に関する記述に過剰に依存しないようお願い致します。多くのリスク及び不確実性があるため、実際の業績は現在の予想と大きく異なる場合があります。将来予想に関する記述に基づいた予想と異なる実績が生じる原因となりうるリスク及び不確実性には以下が含まれます。テnder オファー及び合併のタイミングに関する不確実性；テnder オファーに応じるカイト株主の数に関する不確実性；競合オファーが出現する可能性；取引の様々なクローリング条件が充足されない又は撤回される可能性（当局が取引完了を禁止、延期又は承認を拒否する等の可能性もある）；合併契約の終了を招きかねない事象、変更、その他の状況の発生；取引（又はその発表）が従業員、顧客、その他のビジネス・パートナー、当局との関係に及ぼす影響；取引の経費；場合によっては、合併により経営陣の注目がギリアド又はカイトの継続的事業運営からそれてしまうリスク；両社の米証券取引委員会への定期報告書において時折報告されているその他のリスク及び不確実性—Form 8-Kでの最新報告書、Form 10-Qでの四半期報告書、Form 10-Kでの年次報告書の他にカイトが提出するSchedule 14D-9、ギリアドの完全子会社であるGilead and Dodgers Merger Sub, Inc. が提出する Schedule T0及びテnder オファー関連文書等。全ての将来予想に関する記述は、ギリアド及びカイトが現在入手可能な情報に基づいたものであり、両社とも将来予想に関する記述に対して責任を負うことがなく、将来予想に関する記述の更新を行う意向もありません。

### **追加情報及びその検索方法**

本文書に記載したテnder オファーはまだ開始されていません。この発表はカイト株の買付を提案するものでも、カイト株の売却を勧誘するものでもありません。ギリアドがカイト株の買付けについて勧誘及び提案を行うのであれば、当社は米証券取引委員会に提出する意向である買付提案書及び関連資料に従ってのみ行います。オファーの開始時に、ギリアドは米証券取引委員会に公開買付届出書（Tender Offer Statement on Schedule T0）を、カイトは同委員会にSchedule 14D-9による意見表明書（Solicitation/Recommendation Statement）を提出します。

カイトの株主及び投資家の皆様にはテnder オファーの資料（買付提案書、関連の送付状、その他の所定の文書等）及び意見表明書をお読み頂くように強くお勧めします。これらの書類はどれも時々修正される可能性があります。重要情報が記載されていますので、テnder オファーについて対応を決定される前に注意深くお読み頂く必要があります。買付提案書、関連の送付状、その他の所定の書類、及び意見表明書は、カイトの株主に無料で送付されます。公開買付書及び意見表明書は、米証券取引委員会のウェブサイト [www.sec.gov](http://www.sec.gov) から無料で入手できます。これらの資料及びその他の所定の提案関連の書類はギリアド・サイエンス社（Gilead Sciences, Inc., 333 Lakeside Drive, Foster City, CA 94404, attention: Investor Relations）まで郵便で請求頂ければお送り致します。電話で請求される場合は、1-800-

GILEAD-5 又は1-650-574-3000までご連絡下さい。公開買付届出書に記載されている今回の買付担当のインフォメーション・エージェントに直接請求することもできます。

公開買付届出書、関連の送付状、その他の所定の書類、意見表明書に加えて、ギリアド及びカイトは、年次/四半期/特別報告書、委任状説明書及びその他の情報を証券取引委員会に提出します。皆様方はギリアド及びカイトが提出した全ての報告書、説明書及びその他の情報を証券取引委員会の公共資料室（100 F Street, N.E., Washington, D.C. 20549）で閲覧及びコピーが可能です。公共資料室に関する詳細な情報は、証券取引委員会に電話で問い合わせ下さい（1-800- SEC-0330）。証券取引委員会に提出したギリアド及びカイトの文書は、商業書類検索サービス及び証券取引委員会のウェブサイト[www.sec.gov](http://www.sec.gov)からも一般公開されています。

###